



留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	\$6,800	961,789 円	
宿舍費	\$6,000	872,270 円	寮費(\$3,925)+ミールプラン(\$2,075)
食費	約\$600	約 80,000 円	外食費(月 150ドルほど)
図書費		円	Eブックか PDF 資料
学用品費		円	
携帯・インターネット費		19,920 円	30 ギガ 4,980 円/月
現地交通費		円	大学までは寮のシャトルバス、 遊びに行くときは基本友達の家 ( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	約\$2000	約 420,000 円	月 500ドルほど
被服費	約\$300	約 42,000 円	
医療費		円	医者にかからなかった
保険費		127,046 円	形態:現地の大学のもの(74,176 円) 明治大学のもの(52,870 円)
渡航旅費		263,261 円	
ビザ申請費		71,789 円	
雑費		97,570 円	渡航前のワクチン費
その他		円	
その他		円	
合計		2,535,645 円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:成田空港	目的地:LAX 経由地:
復路 出発地:成田空港	目的地:LAX 経由地:
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:シンガポールエア 料金:173,360 円 復路 航空会社:ZIPAIR 料金:89,901 円 ∴合計:263,261 円	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:各航空会社の公式サイト)	
<input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:CSULB Beachside Collage) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 3 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学の Housing Portal

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

留学中に仲良くなった友達はほとんど寮で出会いました。料金は高いですが、アパートよりも寮を私はお勧めします。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

大学内で事故があった時は大学のメールで知りました。夜一人で出歩かないなど、最低限気を付けました。ロングビーチはとても治安が良いです。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内での Wi-Fi は良かった。寮では角部屋だったため Wi-Fi が弱かった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で口座開設はしなかった。日本のクレカを使っていた。お金は随時親に日本の口座に送金してもらっていた。現金は友達と割り勘するときのみ使った。大学内の ATM でりそな銀行のキャッシュカード兼デビットカードを使い現金を引き出していた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

アジアンマーケットの H マートで日本食は調達できる  
現地で調達できないものは特にないが、薬関係は英語でわかりにくいので常備薬の持参は必要。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に自身のデビットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:12 単位以上は追加料金	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Interpersonal Communication	対人間コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	2022 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture と Activity(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Mary B. McPherson / L. Adriana La Fuente
授業内容	対人関係の形成、維持、終了の基礎となる基本的な特性を学ぶ。また、これらの特性が様々な形の対人間コミュニケーションに与える理論的、実践的な影響について議論する。アクティビティクラスでは、対人コミュニケーションスキルを向上させるための活動に取り組む。
試験・課題など	毎週 1 チャプターずつ読んで予習する。毎週アクティビティクラスの振り返りを提出する。テストは三回あり、最初の二回はオンライン、最後の一回は対面で行われた。
感想を自由記入	予習で読む量が多いが、読みやすく身近な例も挙げられており面白い。身近な現象についてコミュニケーション学での用語を覚える。アクティビティクラスではクラスメイトと議論する機会も多く楽しい。課題は毎週出されるが量は多くなく、テストも勉強すれば確実に取れる。担当教授はどちらも親切だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intercultural Communication		対文化間コミュニケーション	
科目設置学部・研究科	Communication		
履修期間	2022 Fall		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Manuel Manny Pulido		
授業内容	異文化のコンテキストにおける自分自身と他社の行動を批判的に点検し、内観することによって知識、理解、スキルを習得する。能動的かつ創造的な推論を行い、自分自身の前提を問い直し、「異文化」のメンバーとコミュニケーションをとるスキルを身に着けることを欲求する自己啓発を目的とする。		
試験・課題など	毎週出されるテーマに沿い、1 テーマにつき A4 レポート一枚を八枚学期末に提出。テストは三回、教室に集まり各自オンラインでテストを行う。自身で作成したテストガイドを参考にすることができる。		
感想を自由記入	<p>国、人種、障がいなど様々な「異文化」を持つ人の背景知識を得て、実際にどのような偏見を持ってしまいやすいか、どのようなことに気を付けてコミュニケーションをとっていきべきか、などを学んでいく。将来様々なバックグラウンドを持つ人々と関わっていくうえで役に立つ知識、姿勢が身に着けられるように感じた。</p> <p>クラスメイトとの議論や、コミュニケーションをとる機会が多い。</p> <p>実際に起こった事例など、ユーチューブの動画で学ぶことが多い。</p> <p>教授はとても親切だった。</p> <p>課題は多くない。テストも勉強すれば取れる。課題に対しても比較的いい評価をもらえる。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Travel and Tourism		旅行と観光への入門	
科目設置学部・研究科	Recreation		
履修期間	2022Fall		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Dr. Katie Dudley		
授業内容	観光の地理、経済、心理、歴史、物理的な発展、また観光地における産業のプラスとマイナスの影響など、観光の基本的な要素や概念を学ぶ。		
試験・課題など	中間試験と期末試験の二回。課題については、指定された動画を見て後から表示される質問に答えるものが多く出された。最終エッセイは 600 字以上。		
感想を自由記入	学生がたくさん意見を言うような参加型授業だった。グループワークも毎回ではないが時折行われた。教授の話し方がはっきりしていて聞き取りやすかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender, Race, Sex and Societies	ジェンダー、人種、性別と社会
科目設置学部・研究科	Women's Gender & Sexuality
履修期間	2022fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Mariam Youssef
授業内容	フェミニスト運動や著作によって提起された基本的な問題のいくつかを学ぶ。現代社会における人種、階級、ジェンダー、セクシュアリティをめぐる社会的、政治的従属に対してフェミニスト運動や著作が提起するいくつかの基本的な問題を紹介する。
試験・課題など	毎週 PDF にてリーディングの課題が出される。それに沿った質問課題が課され、それに答えるレポートを毎週提出する。最低 A4 一枚のためそれほど長く書くことは求められない。また、授業内で内容理解のテストが行われる。テストは、リーディング課題を読んだかどうかを確認する程度の問題であるため難しい。また、それに加えて特定のテーマに沿って三回レポート提出があった。試験は、中間、期末の二回で記述式。対面で行われ、中間はノートやリーディングの参照可、期末は参照不可だった。
感想を自由記入	課題は毎週出されるが、成績のつけ方は厳しくない。テストなども、事前にテスト勉強のための授業を設けてくれるためそこまで苦戦はしなかった。ペアや少人数グループでの話し合いは多いが、グループプロジェクトなどは特にない。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	トーフル受験
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	選考 出願
	4月～7月	ビザ申請、航空券購入、予防接種、滞在先の確保
	8月～9月	中間試験
	10月～12月	期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

留学前は手続きが大変でしたが、渡航後はとにかく楽しくて五か月間はあっという間に過ぎていきました。ロングビーチは海も近く、ロサンゼルス車で30分ほどのため観光地も多く週末にはいろいろな場所に行きました。また気候も治安もよく、人も比較的フレンドリーで親切です。人気な留学ということで日本人学生も多いため、留学先では日本人と関わりたくないという人にはお勧めしませんが、同じ日本人の英語力や積極性に刺激を受けることも多かったです。現地では多くの友達に恵まれ、ホームシックなどになることもなく毎日楽しく充実した生活を送りました。

留学を決心する際には、英語力、資金面、手続きなど様々な不安要素があると思いますが、終わってみれば忘れてしまうほど、留学において得るものの方が多いです。

授業免除型で不合格になってしまった方も、資金面や奨学金についてなど大学の留学相談を利用しながら、もう一度検討してみることをお勧めします。